

第2回堀金小学校3年生と南農生とのリンゴ栽培体験交流

5月16日(金)に青空の下で、本校の第2農場リンゴ園にて第2回交流会を実施しました。

リンゴ園での交流は今回が初めてで、「一輪摘果」作業を体験してもらいました。最初は、恒例の紙芝居を使い、一輪摘果のやり方と今回の実験「一輪摘果をした果実としない果実では、どんな差がみられるか収穫時に確かめよう」について聞いてもらいました。その後、各班の木に移動し、高校生が実際にやって見せ、きちんと理解してもらってから作業に入りました。小学生の皆さんは、蜜がたっぷり入った甘くて美味しいリンゴをつくろうと、枝の下にもぐるなどしてやり残しがないか探し、丁寧に側果を摘み取ってくれました。

印象的だったのは、何人もの小学生が摘果したリンゴを手を持って「このリンゴ美味しいの。食べてもいい。」と聞いてきてくれたことです。夏休み明けの第3回交流会では、袋掛け作業の後で未熟果ではありますがリンゴを食べてもらいます。どんな味なのか楽しみにしてください。



実演を見る小学生



常念岳をバックに作業に取り組む



高校生と一緒にリンゴを摘み取る小学生

